

平成22年11月19日

お知らせ

資料提供先：鳥取県政記者クラブ
鳥取市政記者クラブ

平成22年度 出水期後の千代川堤防点検について

国土交通省鳥取河川国道事務所では、堤防の安全性を維持するため、出水期前点検や日々の河川巡視により、常に状態が変化する河川の変状について、把握しているところですが、出水期間中（6/10～10/20）に生じた変状を早期発見・早期補修する目的で、出水期後の徒歩による外観目視一斉点検を下記のとおり行いますので、お知らせします。

なお、国土交通省職員だけでなく〈防災エキスパート〉、〈河川愛護モニター〉の方々にも参加いただき、点検する予定です。

- * 〈防災エキスパート〉：公共土木施設の専門的知識を持ち、災害発生時に被災情報の支援活動を自主的かつ無報酬でおこなうボランティアです。
- * 〈河川愛護モニター〉：河川利用などの地域要望の把握や、河川施設の異常について河川管理者へ連絡するなどの業務をしています。

記

- ・点検日時：平成22年11月25日（木）（小雨決行）
悪天候で中止の場合 平成22年12月6日（月）（予備日）
9:30 鳥取市民スポーツ広場駐車場【千代川右岸4k6付近の高水敷】に集合
点検前に出発式を行う
9:45～15:00（予定） 現地点検を5班に分かれて実施
点検結果は、速やかに鳥取河川国道事務所のHPに掲載予定
- ・点検場所：千代川、袋川、新袋川、八東川の直轄管理（大臣管理）区間

問い合わせ先
国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

副 所 長 うえはし のぼる
上橋 昇

【 担 当 】 河川管理課長 くにもと ちかのり
國本 哉智

【広報担当】 調査設計課長 ひめむら こうぞう
姫村 幸造

TEL (0857) - 22 - 8435 (代表)

FAX (0857) - 29 - 1819

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

「平成22年度 出水期後の千代川堤防点検」 実施概要

1. 点検の目的

出水期間中(6/10～10/20)の洪水や降雨、日照りにより、堤防、護岸、水門などの河川管理施設、また堰、橋梁などの許可工作物について、変状が発生していないか点検する。

2. 日程(小雨決行)

・平成22年11月25日(木)9時30分に集合し、出発式を行う。

集合場所:鳥取市民スポーツ広場駐車場(千代川右岸4k6付近の高水敷)

…別添図を参照下さい

・現地点検時間:9時45分から15時00分まで

3. 点検箇所 千代川直轄管理(大臣管理)区間(約40km)を、五班に分かれて実施

第1班 千代川 鳥取市源太(源太橋) → 千代川の河口までの左岸

第2班 千代川 鳥取市源太(源太橋) → 千代川の河口までの右岸

第3班 千代川 鳥取市源太(源太橋) → 用瀬(三角橋)までの左岸

第4班 千代川 鳥取市源太(源太橋) → 用瀬(三角橋)までの右岸(八東川を含む)

第5班 新袋川 鳥取市古市(千代川合流点) → 大杵(大杵堰)までの左右岸

袋川 鳥取市大杵(大杵堰) → 岡益(岡益橋)までの左右岸

袋川 鳥取市湯所(湯所橋) → 浜坂(千代川合流点)までの左右岸

4. 点検項目

- 1)堤防、護岸、堰、水門などの河川管理施設
- 2)堰、橋梁、樋門などの許可工作物
- 3)その他の構造物など

5. 点検方法等

・徒歩による、外観目視点検を基本とする。

・変状を発見した場合は、箇所、規模、補修の必要性、緊急性について、点検表に記入する。

結果は、鳥取河川国道事務所HPIに掲載する。

補修の必要があれば、速やかに補修を実施する。

また、許可工作物などで他に管理者がいる場合は、その施設管理者へ通知する。

6. 参加人員

・国土交通省職員、防災エキスパート、河川愛護モニター 計 約20名(予定)

7. 報道のおすすめポイント

① 9:30からの出発式 場所:鳥取市民スポーツ広場駐車場 千代川右岸4k6付近の高水敷

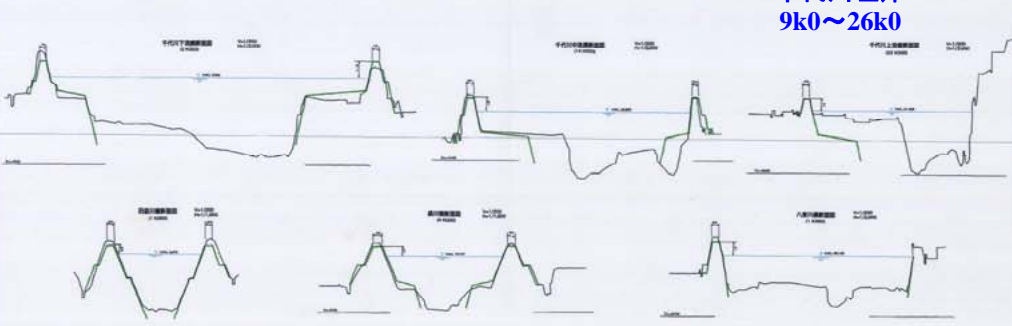
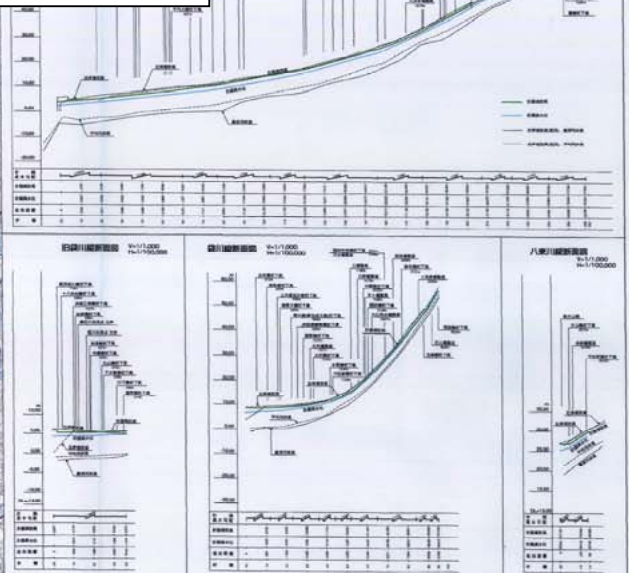
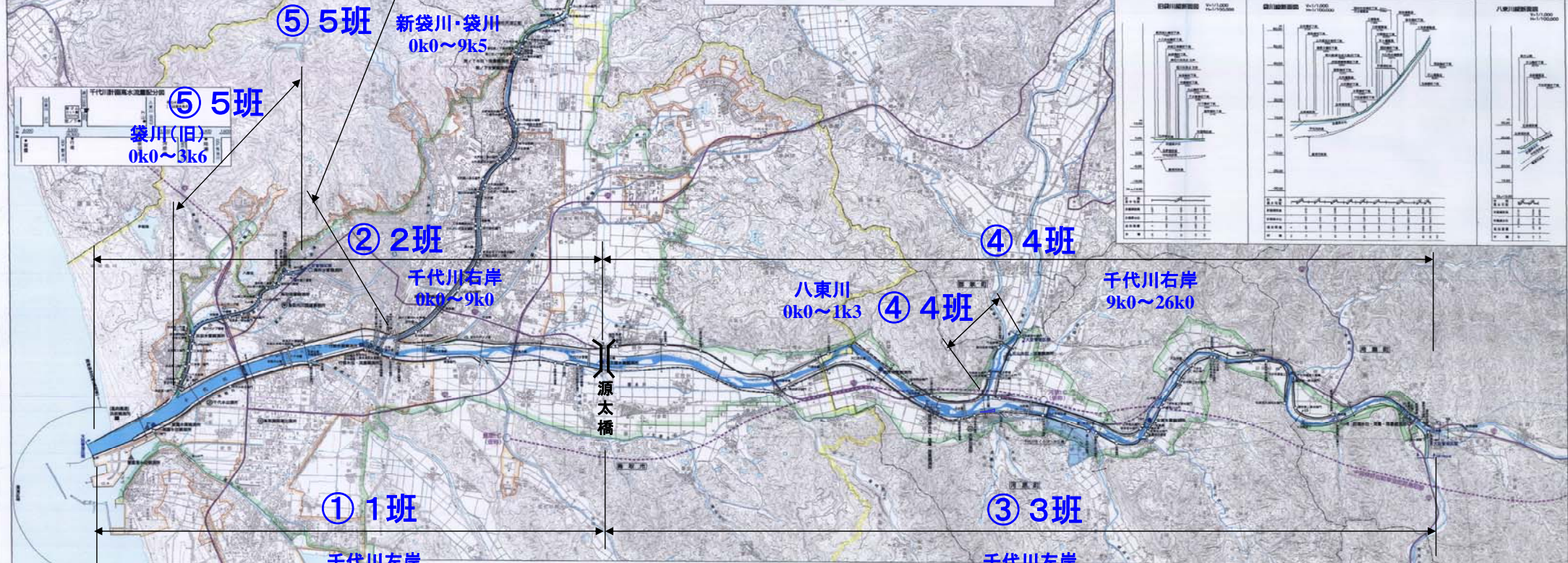
② 9:45(予定)からの、千代川右岸4k6付近の堤防点検(報道関係者へ説明します。)

千代川点検区域

(内部用)

千代川改修計画概要

河川名称	千代川
河川延長	約12.5km
流域面積	約1,200km ²
平均流量	約100m ³ /s
計画期間	平成25年度～平成30年度
事業費	約100億円
事業内容	河川改修、堤防整備、水質改善、治水施設整備等



国土交通省河川局河川課



千代川堤防点検
集合場所

集合場所

千代川

千代橋